

☆RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 8134 Apr 30 2020

Copyright(C) 2020 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

東京時間2020年4月30日木曜日17時<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

◎お知らせ

○ゴールデンウィーク期間中の休刊スケジュールについて

リム情報開発株式会社は、2020年4月29日(水)および、5月4日(月)から5月6日(水)まで、ゴールデンウィーク休暇のためジャパン海上レポートを休刊させていただきます。休暇後の発行再開は5月7日(木)からとなります。当社ウェブサイトで、2020年の休刊スケジュールをご確認いただけます。下記のURLよりご覧ください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/RimHolidayNotice2020JP.pdf>

OPRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2月27日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関し、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

30日のレックス22は、28日から2.39ポイント低下し42.49です

----- リムレポートのご紹介 -----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/first/report>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
CROSS VIEW軽油	CROSS VIEW重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp

弊社レポートのゴールデンウィーク期間中の休刊スケジュールについては、表紙上の案内をご覧ください。

東京時間2020年4月30日木曜日17時<Assessment Closing Time>

◎国内石油製品海上バージスポット価格（製油所・油槽所バージ取り・円/kl）

東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	- 25,800 ~ 26,700 -	26,250	-4,350	-500/+400
灯油	- 25,800 ~ 26,700 -	26,250	-1,350	-500/+400
軽油0.001%S	- 28,500 ~ 29,000 -	28,750	-2,450	-300/+200
A重油0.5%S	- 25,200 ~ 25,500 -	25,350	-5,150	-500/+500
A重油0.1%S	- 25,700 ~ 26,000 -	25,850	-5,150	-500/+500
C重油0.3%S	33,000 ~ 34,000	33,500	+0	-500/+500
C重油3.0%S	24,500 ~ 25,500	25,000	+0	-500/+500
船舶用重油				
0.5%S重油	35,400 ~ 36,400	35,900	+0	
3.0%S重油	25,500 ~ 26,500	26,000	+0	

西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	- 25,800 ~ 26,700 -	26,250	-4,350	-500/+400
灯油	+ 23,800 ~ 24,700 +	24,250	+2,000	-2500/-1600
軽油0.001%S	- 28,500 ~ 29,000 -	28,750	-2,450	-300/+200
A重油0.5%S	- 25,200 ~ 25,500 -	25,350	-2,650	-500/+500
A重油0.1%S	- 25,700 ~ 26,000 -	25,850	-2,650	-500/+500
C重油0.3%S	33,000 ~ 34,000	33,500	+0	-500/+500
C重油3.0%S	24,500 ~ 25,500	25,000	+0	-500/+500
船舶用重油				
0.5%S重油	35,400 ~ 36,400	35,900	+0	
3.0%S重油	25,500 ~ 26,500	26,000	+0	

市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース

◎国内石油製品ペーパースワップ価格（国内製油所バージ取り・円/kl）

	5月	6月	7月
ガソリン	- 25,800 ~ 26,700 -	+ 24,600 ~ 25,200 +	+ 25,500 ~ 26,100 +
灯油	- 25,800 ~ 26,700 -	- 28,000 ~ 28,600 -	26,000 ~ 26,600
軽油0.001%S	- 28,500 ~ 29,000 -	- 28,500 ~ 29,000 -	- 28,500 ~ 29,000 -
A重油0.5%S	- 25,200 ~ 25,500 -	- 25,200 ~ 25,500 -	- 25,200 ~ 25,500 -
A重油0.1%S	- 25,700 ~ 26,000 -	- 25,700 ~ 26,000 -	- 25,700 ~ 26,000 -
C重油0.3%S	33,000 ~ 34,000	33,000 ~ 34,000	33,000 ~ 34,000
C重油3.0%S	24,500 ~ 25,500	24,500 ~ 25,500	24,500 ~ 25,500

◎東京商品取引所石油先物・日中取引（東京湾製油所・油槽所バージ取り・円/kl）

ガソリン	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
6月限	22,000	24,500	22,000	24,100	+2,100	8
7月限	24,000	25,000	24,000	25,000	+1,910	3
8月限	25,060	26,550	25,060	26,340	+2,240	15
9月限	26,130	27,800	25,780	27,530	+2,280	29
10月限	27,530	29,500	27,470	28,450	+2,310	124
11月限	28,420	30,830	28,420	29,410	+2,410	184
合計	363					

灯油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
6月限	27,140	27,500	27,140	27,500	-590	2
7月限	-	-	-	25,450	0	-
8月限	27,310	27,310	27,310	27,310	+810	2
9月限	30,470	30,470	30,470	30,470	+2,570	1
10月限	29,810	31,120	29,810	31,120	+2,680	16
11月限	31,090	32,000	31,090	31,850	+2,590	17
合計	38					

軽油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
6月限	-	-	-	41,800	+3,000	-
7月限	-	-	-	42,800	+3,000	-
8月限	-	-	-	43,800	+3,000	-
9月限	-	-	-	44,800	+3,000	-
10月限	-	-	-	45,800	+3,000	-
11月限	-	-	-	46,800	+3,000	-
合計						

原油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
4月限	13,770	13,770	13,770	13,770	+30	1
5月限	16,080	17,870	16,080	16,900	+2,700	465
6月限	17,750	19,740	17,750	18,750	+2,450	272
7月限	18,310	20,210	18,270	19,200	+2,150	475
8月限	19,170	21,020	19,070	20,100	+2,060	1,583
9月限	19,900	21,790	19,730	20,480	+1,780	24,908
合計	27,704					

取組高 (04/28) :

	売	買
ガソリン＝	1,782	1,782
灯油＝	728	728
軽油＝	0	0
原油＝	126,517	126,517

1枚＝50kl

◎東京湾製油所出し陸上スポット価格 (千葉・川崎平均値 円/kl)

ガソリン	24,450	-600	灯油	26,650	-400
未課税軽油0.001%S	26,900	+200	A重油0.5%S	25,125	+225
A重油0.1%S	25,625	+225			

◎原油輸入平均CIF価格 (JCC 円/kl・財務省発表)

20/02/01-29r	48,648	20/03/01-31r	42,437	20/04/01-30	5月21日発表予定
20/02/01-10	49,482	20/03/01-10	46,350	20/04/01-10	33,734
20/02/11-20	48,389	20/03/11-20	41,764	20/04/11-20	5月12日発表予定
20/02/21-29	48,179	20/03/21-31	39,387	20/04/21-30	5月21日発表予定

r＝修正値

◎原油輸入平均CIF価格予想値 (JCC 円/kl、RIM試算値)

20/4月	28,080	±0	20/5月	16,070	-90	20/6月	14,110	+1,870
-------	--------	----	-------	--------	-----	-------	--------	--------

◎MR船型の日本着輸入価格 (ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	プレミアム	円/kl
ナフサ	+ 206.75 ~ 210.25 + **	-5.75/-5.25	15,744
ジェット/灯油	+ 20.30 ~ 20.40 +	-2.15/-2.05	16,954
軽油 0.001%S	+ 31.10 ~ 31.20 +	-0.55/-0.45	24,685
重油 0.3%S	+ 185.75 ~ 195.75 +	50.00/60.00	23,111*
重油 380cst 3.5%S	+ 125.25 ~ 126.25 +	-4.50/-3.50	16,275

円ドル換算レート (TTS 円/ドル 4月30日現在) 107.87 *密度0.95

**ナフサのスポット価格、プレミアムは参考値

◎MR船型の日本積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	プレミアム	円/kl
ジェット/灯油	+ 17.75 ~ 17.85 +	-4.70/-4.60	14,765
米西海岸向け軽油	+ 28.85 ~ 28.95 +	-2.80/-2.70	22,227
軽油 0.001%S	+ 28.60 ~ 28.70 +	-3.05/-2.95	22,059
重油 380cst 3.5%S	+ 108.25 ~ 109.25 +	-21.50/-20.50	14,132

円ドル換算レート (TTM 円/ドル 4月30日現在) 106.87 *還付金の2,800円を含む

◎MR船型のシンガポール積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	プレミアム
ナフサ	+ 19.20 ~ 19.30 +	-2.05/-1.95
ジェット/灯油	+ 18.55 ~ 18.65 +	-3.90/-3.80
軽油 0.001%S	+ 29.95 ~ 30.05 +	-1.70/-1.60
軽油 0.05%S	+ 27.35 ~ 27.45 +	-4.30/-4.20
重油 0.5%S	+ 180.75 ~ 190.75 +	45.00/55.00
重油 180cst 3.5%S	+ 128.25 ~ 129.25 +	-7.50/-6.50

◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格

	スポット価格	プレミアム
0.45%LSWR (\$/mt)	+ 158.75 ~ 160.75 +	23.00/25.00*
0.45%LSWR (\$/bbl)	+ 24.05 ~ 24.35 +	

*シンガポールペーパーズワップ180cst 3.5%S重油に対するプレミアム

◎シンガポール・ペーパーズワップ (重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル)

	5月	6月	7月
--	----	----	----

ナフサ	+	21.20~	21.30	+	+	22.70~	22.80	+	+	24.35~	24.45	+
ジェット/灯油	+	22.40~	22.50	+	+	26.25~	26.35	+	+	29.30~	29.40	+
ジェット/軽油格差	-	-9.25/	-9.15	-	-	-7.05/	-6.95	-	-	-5.30/	-5.20	-
0.001%S軽油	+	31.60~	31.70	+	+	33.25~	33.35	+	+	34.55~	34.65	+
180cst 3.5%S重油	+	135.50~	136.00	+	+	147.50~	148.00	+	+	158.50~	159.00	+
380cst 3.5%S重油	+	129.50~	130.00	+	+	140.00~	140.50	+	+	150.50~	151.00	+

◎シンガポール精製マージン（対ドバイ原油・ドル/バレル）

	5月	6月	7月
ナフサ	-3.59	-4.75	-4.09
ジェット/灯油	-2.39	-1.20	0.86
0.001%S軽油	6.81	5.80	6.11
180cst 3.5%S重油	-3.96	-4.77	-4.07
380cst 3.5%S重油	-4.88	-5.92	-5.30

◎アジア・バンカー価格（ドル/mt・届けベース）

	380cst		VLSFO		LSMGO（日本のみLSMDO）	
東京湾	180.00-183.00	+20.00	225.00-228.00	+15.00	308.00-318.00	-55.00
西日本	186.00-189.00	+20.00	231.00-234.00	+15.00	318.00-328.00	-55.00
伊勢湾	185.00-188.00	+20.00	230.00-233.00	+15.00	308.00-318.00	-55.00
韓国	191.00-194.00	0.00	187.00-190.00	0.00	210.00-220.00	0.00
シンガポール	150.00-153.00	+30.00	239.00-242.00	+44.00	235.00-245.00	+52.00

◎韓国出しSR船型輸入採算価格(A重油を除き関税・石油石炭税込み 円/kl)

荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		LSA重油	
北海道	22,121	+3,503	21,737	+2,855	27,399	+3,856	19,677	+3,873
京浜	21,918	+3,504	21,533	+2,855	27,196	+3,857	19,473	+3,873
中京	21,714	+3,504	21,330	+2,857	26,992	+3,857	19,269	+3,874
関門	21,443	+3,506	21,058	+2,857	26,721	+3,859	18,998	+3,875

◎20年4月の海上スポット市況月間平均確定値、単位：円/kl

	京浜	前月比	西日本	前月比	東西平均	前月比
ガソリン	34,386	-11,245	34,386	-11,245	34,386	-11,245
灯油	29,981	-10,486	27,988	-11,512	28,985	-10,998
軽油	37,190	-12,639	37,190	-12,639	37,190	-12,639
A重油 0.5%S	34,283	-12,405	34,181	-12,545	34,232	-12,475
A重油 0.1%S	34,793	-12,438	34,681	-12,557	34,737	-12,498
C重油 0.3%S	37,645	-15,760	37,645	-15,760	37,645	-15,760
C重油 3.0%S	27,524	-7,619	27,524	-7,619	27,524	-7,619
0.5%S重油*	40,950	-14,217	40,950	-14,217	40,950	-14,217
3.0%S重油*	28,524	-7,619	28,524	-7,619	28,524	-7,619

単位：円/kl *：船舶用

マーケットコメント
〇元売り市中調達
トッパー停止数・3基 停止率9.6%

30日の元売り市中調達は表面化せず。

〇ガソリン 京浜・前日比4,350円安の25,800～26,700円 西日本・前日比4,350円安の25,800～26,700円

＜概況＞スポット市況は大幅安となっている。原油は急伸したものの、海陸のスポット相場は依然として軟調なままだ。販売不振が強く意識されており、早めの販売を進める業者が多いため。海上スポット市場でも先安を意識し、売値を下方修正する動きが出ていた。ペーパー Swap をベースとする月間平均フラットは、26,300円。市況連動商談は京浜、西日本いずれも月間平均レス500～プラス400円だった。

石連が発表した石油統計によると、19～25日のガソリンの得率は27.9%で前週から2.1ポイント上昇した。前年同週(2019年4月21～27日)と比較した在庫水準は、全国で26.1%多い200万klとなっている。前週と比較すると20万1,000kl、在庫が積み上がった。東西の在庫水準は京浜が前年比13.8%多い101万kl、西日本が同比41.7%も多い99万klとなっている。この間の推定出荷量は前年を42.6%も下回る54万kl。一般消費者の外出自粛が続いており、店頭販売などの振るわない状況が継続しているためとみられる。今後はゴールデンウィークに入るが、さらに販売量は落ち込む可能性が高い。この間の輸出量は1万7,000klにとどまった。

＜成約＞成約は浮上しなかった。

＜元売り市中買い＞元売りの調達意欲は不明。

＜JOF 市場＞午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー、

京浜		阪神		大西	
27,000(200kl)/	—	27,000(200kl)/	—	—	/ —
—	/ —	—	/ —	—	/ —

＜東西渡し＞

スポット相場は大きく切り下がった。JOF市場ではこの日も京浜と阪神の製油所玉に対して強い買い気が示されていた。ビッドは27,000円と、前日の水準から大幅に切り下がっていた。このビッドに対してオファーは提示されないまま、この日もセッションは終了を迎えた。

一方、OTC市場では東西でオファーが寄せられている。価格は25,500円。陸上における販売不振を背景に、海上でまとまった数量の売り先を探る動きがある。

JOF市場のビッド、OTC市場のオファーの中心値は26,300円となっている。

海陸ともに相場は軟調となっている。販売不振が非常に強く意識されており、この日5月商談が始まった陸上スポット市況も4月末の水準から軟化してスタートを切った。東名阪4製油所出しでは安値圏で24,000円前後や24,000円台前半といった玉が出回り始めている状況。少なくとも5月6日まで全国に対して非常事態宣言が発令されるため、この間は販売が伸び悩むとの見方が優勢だ。ゴー

ルデンウィークの販売数量も大幅に減退するとの観測が寄せられている。市場関係者によると、前週末時点までの民族系最大手元売りの販売量は8割を割り込んでおり、他元売りについても販売量は同程度まで落ち込んでいるようだ。前年は連休

が長かったこともあり、「前年と同量の販売枠は到底売り切れない」(商社)との声が広がっている。いつもは系列玉をコスト重視で販売する業者なども、手持ち玉消化のためにコスト割れで売り応じるといったケースも見え隠れしていた。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗ガソリン	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	1,009,545	92,150	1,623,001	-30,159	17,195	-51,377
西日本	990,483	114,594	800,720	-25,358	36	-7

灯油 京浜・前日比1,350円安の25,800~26,700円 西日本・前日比2,000円高の23,800~24,700円

＜概況＞京浜は反落、西日本では反発。先物期近限月は下落したものの、西日本は一定の買い気がみられた。市況平均連動は京浜で月間平均レス500~プラス400円、西日本で月間平均レス2,500~レス1,600円。この日のスワップレートは26,300円。25日時点の灯油在庫は140万5,106klと、前週から2,515klの減少。北日本を中心に出荷が好調だったことから、小幅ながら取り崩しとなった。得率は8.2ポイントと前週を1.4ポイント下回った。

＜成約＞

浮上しなかった。

＜JOF市場＞午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー
上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜	阪神	大西
25,000(500kl)/ —	— / —	25,000(500kl)/ —
— / —	— / —	— / —

＜東西渡し＞

京浜で成約はなく、JOF市場で25,000円のビッド、オファーはOTC市場で27,500円だった。

西日本で成約はなく、ビッドはJOF市場とTOCOM現物市場で25,000円、オファーはTOCOM現物市場で23,500円だった。

京浜のJOF市場では、25,000円のビッドが提示されたが、オファーはなかった。OTC市場のディーラー間では、オファーで27,500円と先物期近並みの価格が提示されたが、成約など具体的な動きはなかった。連休の間で、ディーラー間で様子見姿勢が強い。一方、陸上市場では北日本で荷動きが残

るうえ、末端の価格も値下がりが続いているため消費が順調だという。

西日本のJOF市場では、京浜と同値の25,000円のビッドだけで、オファーは返されなかった。TOCOM現物市場でも菊間出し200klで25,000円のビッドが残ったものの、オファーは300klで23,500円が先に取消しになった。数量も違い、成約に進展はなかった。一方で菊間出しの玉が出にくい状態が続いているため、5月渡しについての商談に消極的なディーラーも見受けられた。

在庫内訳	単位:kl	前週比	ジェット	前週比	合計	前週比
東日本	933,427	-5,887	323,139	-14,197	1,256,566	-20,084
西日本	471,679	3,372	400,958	38,310	872,637	41,682
輸出内訳						
東日本	0	-32,543	36,749	-39,228	36,749	-71,771
西日本	0	0	83,658	82,475	83,658	82,475

○軽油 京浜・前日比2,450円安の28,500～29,000円 西日本・前日比2,450円安の28,500～29,000円

＜概況＞スポット相場は前日の水準から大幅続落となった。民族系最大手元売りの基準価格を意識した水準まで、唱えを引き下げる動きが出たためだ。ペーパーズワップをもとに算出した月間平均フラットは京浜、西日本がいずれも28,800円。市況連動商談は京浜、西日本ともに月間平均レス300～プラス200となった。

石連が発表した石油統計によると、19～25日の軽油の得率は27.3%。前週から5.5ポイントも上昇している。前年同週(2019年4月21～27日)と比較した在庫水準は、全国で18.5%高い141万8,000klだった。東西では東日本が11.3%多い75万9,000kl、西日本が28.1%多い65万9,000klといずれも積み上がっている。この間の推定出荷量は前年を22.9%下回る53万6,000klにとどまった。この間の輸出量は9万2,000klとなり、前週からは大幅に増加したが前年同期と比較すると68.4%も少ない。

＜成約＞成約は浮上しなかった。

＜元売り市中買い＞元売りによる調達には浮上しないまま。

＜JOF 市場＞午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー、上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜	阪神	大西
29,000(200kl)/ —	29,000(200kl)/ —	— / —
— / —	— / —	— / —

＜東西渡し＞

スポット相場は前日から大幅に下落している。JOJF市場ではこの日も京浜と阪神の製油所玉を対象とするビッドが提示されているが、この水準が前日から5,000円近く下落した。この日は29,000円が提示されていた。やはり売り手は現れないままセッションは終了となっている。

OTC市場では引き続き西日本において28,500円で売りを検討するプレーヤーがいる。JOJF市場でのビッドと対比して売唱えは割安だが、ルートおよ

び売り手の有する売り先の違いからJOJF市場では販売ができないようだ。京浜ではオファーは寄せられていないが、東西の市況については大幅に異なるとの指摘はない。

陸上スポット市場では5月商談が始まったが、東名阪4製油所では中京と阪神が4月末の商談水準を下回ってスタートした。安値圏では26,500円が出回っている状況。販売不振が強く意識されているためだ。やはり海上のJOJF市場で提示されているビ

ッドは割高だ。このビッドに対して販売するプレーヤーは引き続きいないものの、複数プレーヤーからは「玉を保有していれば際限なく販売したい

水準」(商社)との指摘も寄せられた。しかし、今月も売り手が保有する海上出荷の製油所玉は数量がごくわずかで、なかなか売り手は現れない。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗軽油在庫	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	758,990	55,169	514,175	-37,203	47,286	-5,714
西日本	659,251	65,490	328,479	-11,818	44,808	44,641

OA重油0.5%S京浜前日比5,150円安の25,200~25,500円 西日本前日比2,650円安の25,200~25,500円

＜概況＞東西ともに急落した。元売り各社が5月前半に適用する仕切り価格を出揃った。各社とも足並みを揃える格好で、前週から大幅に仕切りを下げたため、卸各社が弱気となった。市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円~プラス500円と前日から変わらず。

＜JOF市場＞午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー、上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜		阪神		大西	
25,200(100kl)/	—	25,200(100kl)/	—	—	/
—	/	—	/	—	/

＜東西渡し＞

東西ともにJOF市場で25,200円までビッドが下がった。JXTGエネルギー、出光昭和シェルに続き、コスモ石油マーケティングが5月14日まで適用する仕切り価格を前週から6,500円引き下げると通知した。主要出し元各社がこぞって、仕切り価格を大幅に引き下げたため、スポット市場の買い気が一気にしぼんだ。OTC市場では、東西渡しで広域

ディーラーが25,500円まで売り唱えた。

入札案件では、日本海洋事業が27日に開札した、調査船「新青丸」向け横須賀港渡し90klが届け30,850円、「かいいい」向け川崎重工神戸工場渡し100klが届け32,400円で落札された。納期はそれぞれ5月18日、26日で、落札業者はいずれもカメイだった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸出	前週比
東日本	250,190	5,687	12,841	-7,402
西日本	168,325	-1,693	0	-10,067

OA重油0.1%S京浜前日比5,150円安の25,700~26,000円 西日本前日比2,650円安の25,700~26,000円

＜概況＞東西ともに急落した。5月の陸上市況が見え始め、これにさや寄せする格好で海上市場での売買唱えも切り下がった。市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円~プラス500円と前日並みを維持した。

＜JOF市場＞午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり（最高値ビッド/最安値オファー、
上段：固定値、下段：市況連動）。

京浜		阪神		大西	
25,700(100kl)/	—	25,700(100kl)/	—	—	/
—	/	—	/	—	/

＜東西渡し＞

東西ともにJOF市場で25,700円の買唱え、OTC市場で26,000円の売唱えがそれぞれ提示され、新たな相場を形成した。5月市況が見え始め、買い気が後退。取引相場が大きく押し下げられた。元売り各社が30日までに仕切り価格を急激に引き下げたため、陸上市場は4月末渡しから大きく値崩れして

いた。新型コロナの終息が見通せない中、日本政府が5月6日期限としていた緊急事態宣言を1か月程度延長すると伝わった。これを受け、5月も工場や船舶向けの需要が盛り上がり欠けるとの見方が相場の下押し要因となった面もありそうだ。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸出	前週比
東日本	181,065	6,743	1,444	1,088
西日本	120,792	16,085	0	-117

OC重油0.3%S 京浜・西日本ともに前日と同じ33,000～34,000円

【税込み輸入採算価格】日本着MR船型の硫黄分0.3%重油は前日比1,741円高の23,111円。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	495,451	-6,385	0	0	19,568	6,593
西日本	242,720	36,048	20,269	20,269	57,439	32,594

OC重油3.0%S 京浜・西日本ともに前日と同じ24,500～25,500円

東西ともに相場は前日から同水準で推移した。JOF、OTC市場いずれも売買唱えは聞かれなかった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	656,137	7,977	0	0	30,293	1,994
西日本	531,463	47,088	40,241	40,241	15,859	4,693

OO.5%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ35,400～36,400円

原油相場は前日から2,700円反発。一方、スポット市場では目立った取引がみられず、相場は前日から同水準で推移している。

5月の需給見通しについては、石油連盟の統計からも低硫黄重油の在庫は潤沢とみられ、高硫黄重油のような引き締め感は見られないという。

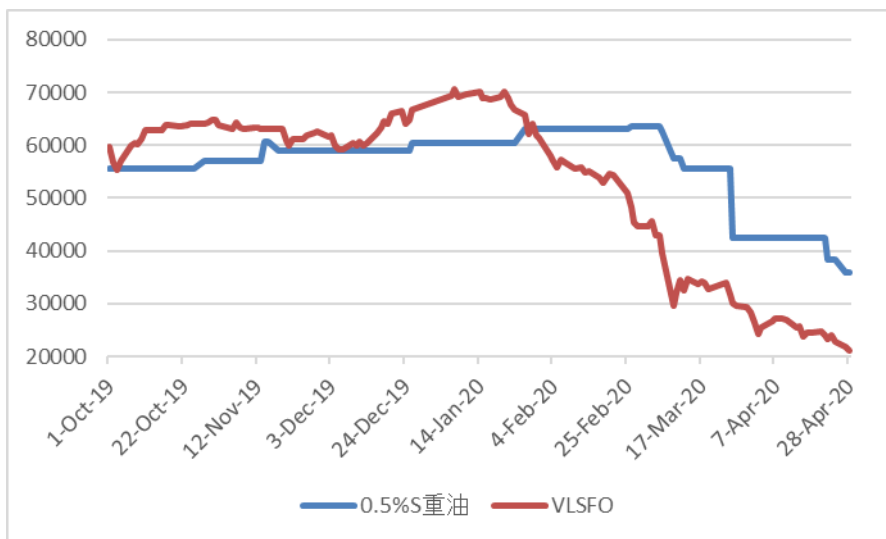
〇3.0%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ25,500～26,500円

東西ともに動きなし。JOF、OTC市場いずれも売買唱えは聞かれなかった。

【**ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格**】京浜の180cstベースで前日比1,985円高の20,631円。

【**硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格**】前日比1,707円高の14,132円。

【京浜の低硫黄重油とボンドバンカー価格の比較】



京浜のVLSFO相場は4月28日に211.50ドルと、4月22日時点から20.00ドル下落した。原油相場に沿った値動きとなっている。大型連休明けの商談に対し、極端な安唱えを挙げるプレーヤーはみられず、聞かれる唱えは指標価格の月間平均値になったものがほとんどだ。

0.5%S重油は同35,900円と前回から2,350円大幅に下落した。23日にJXTGエネルギーが各社に通知した4～6月の仕切り基準価格は36,060円。内燃研適合油フォーミュラ価格は43,400円、ディスカントは最大で3,800円と言われている。市場参加者の多くは両フォーミュラを基に取引を行っており、固定値の売買はほとんど聞かれない状況だ。

〇スワップ取引・東商取概況

スワップアセスメントの基準ナンバーは午後3時～4時

＜スワップ取引5月限＞全面安。先物価格は上昇したものの、1日から適用される基準価格の引き下げを受けた。ガソリンは25,800～26,700円で前日から4,350円安になった。灯油は25,800～26,700円で前日から1,350円切り下がった。軽油は28,500～29,000円で前日から2,450円安に続落となった。

A重油0.5%Sは25,200～25,500円、A重油0.1%Sは25,700～26,000円。C重油0.3%Sが33,000～34,000円、C重油3.0%は24,500～25,500円。いずれも京浜の現物価格と同値。

＜東商取先物＞原油価格は大きく反発した。製品市況も原油市況同様に上昇していたものの、灯油の期近は売り込まれた。当限のクラック・スプレッドはガソリンが350円縮小の5,350円、灯油が同比3,040円となっている。

◎マーケットニュース

○コスモ石油マーケ=5月14日までの基準価格を通知、全油種で引き下げ

コスモ石油マーケティングは5月1日以降に適用する系列向け基準価格を、全油種ともに現行から6.5円引き下げる。市場関係者が30日、明らかにした。今回の改定は5月14日までの2週間分の出荷に適用となる。

28日に30日～5月13日以降の基準価格を通知していたJXTGエネルギーも、全油種で6.5円の引き下げを通知していた。

○[石油統計速報20年3月] 製品需給概要＝経産省

	生産	輸入	販売	輸出	月末在庫
ガソリン	4,071,060	194,360	3,766,012	448,080	1,870,435
(前年比)	93.8	153.9	91.6	115.5	111.3
ナフサ	1,291,301	2,073,232	3,123,385	-	1,424,279
(前年比)	75.8	103.8	80.7	-	107.4
ジェット燃料油	938,137	5,613	398,268	524,659	815,744
(前年比)	64.4	95.8	78.5	62.2	101.1
灯油	1,373,901	91,228	1,501,425	94,814	1,445,009
(前年比)	111.6	186.9	97.6	-	107.1
軽油	3,300,164	91,658	2,880,147	584,917	1,410,047
(前年比)	90.6	110.0	96.3	63.0	104.6
A重油	1,017,399	12,263	896,525	154,904	712,128
(前年比)	91	205	88.3	130.5	88
BC重油	1,603,065	9,870	515,903	1,055,280	1,059,713
(前年比)	110.0	17.1	76.5	153.1	79.9
合計	13,595,027	2,478,224	13,081,665	2,862,654	8,737,355
(前年比)	91.0	106.6	88.9	96.4	101.1

(in kl)

下段は前年比%

*流通段階を除く

○財務省・貿易統計20年3月石油製品輸出-速報値-

	20/3			20/2	
	数量 (kl)	単価 (円/kl)	単価 (ドル/bbl)	数量 (kl)	単価 (円/kl)
揮発油 (ガソリン)	395,529	44,901	66.16	246,899	51,290
(その他)	56,678	48,924	72.09	18,644	56,543
灯油	206,697	45,547	67.12	242,873	485
軽油	618,886	45,811	67.51	553,331	49,027
重油	643,745	39,336	57.96	640,959	47,479
---為替レート (円/ドル) (20/3)	107.89				
---換算値	6.29				

○財務省・貿易統計20年3月原油・石油製品輸入-速報値-

油 種	20/3 数量	(速報値) 単価		20/2 数量	(確報値) 単価
	VOLUME (KL)	YEN/KL	DLRS/BBL	VOLUME (KL)	YEN/KL
原油・粗油	14,782,441	42,437	62.48	12,415,682	48,648
リフォーマート	-	-	-	-	-
ガソリン	209,893	40,825	60.11	283,322	48,991
ナフサ:石化用	2,225,136	40,783	60.04	1,875,570	44,024
ケロシン:ジェット	84,708	46,957	69.13	273,269	50,704
:石化用	-	-	-	-	-
:その他	146,322	45,039	66.31	214,074	54,231
ガスオイル:石化用	-	-	-	-	-
:その他	97,106	38,777	57.09	67,328	48,854
A重油農林漁業用 (免税)	8,263	32,502	47.85	-	-
:S分0.3%以下	9,100	53,644	78.98	13,799	51,433
:S分0.3%超え	3,000	33,333	49.08	-	-
C重油:製油用	5,257	51,538	75.88	9,012	51,281
:S分0.3%以下	-	-	-	-	-
:S分0.3%超え	-	-	-	-	-
為替レート(円/ ドル)	20/3	108.00			

(リフォーマート:単価単位はMT,\$/MT)

○原油・石油製品供給統計週報=<石油連盟全国>

	今週	前週	前週比
	4/19~4/25	4/12~4/18	
製油所稼働状況			
週間原油処理量(kl)	2,743,672	2,994,687	-251,015
週間トッパー実稼働能力(b/d)	3,181,800	3,429,514	-247,714
週間トッパー実稼働率	77.5%	78.5%	-1.0
週間トッパー設計能力(b/d)	3,518,800	3,518,800	+0
週間トッパー設計能力稼働率	70.1%	76.5%	-6.4
石油製品週末在庫			
ガソリン	2,000,028	1,793,284	+206,744
ナフサ	1,504,024	1,755,839	-251,815
ジェット燃料油	724,097	699,984	+24,113
灯油	1,405,106	1,407,621	-2,515
軽油	1,418,241	1,297,582	+120,659
LSA重油(S分0.1%以下)	301,857	279,029	+22,828
HSA重油(S分0.1%超)	418,515	414,521	+3,994
A重油計	720,372	693,550	+26,822
LSC重油(S分0.5%以下)	738,171	708,508	+29,663
HSC重油(S分0.5%超)	1,187,600	1,132,535	+55,065
C重油計	1,925,771	1,841,043	+84,728
合計	9,697,639	9,488,903	+208,736

原油・半製品・装置原料週末在庫			
原油	12,703,405	13,361,701	-658,296
粗ガソリン	2,423,721	2,479,238	-55,517
粗灯油	566,146	647,768	-81,622
粗軽油	842,654	891,675	-49,021
粗A重油	592,308	581,831	+10,477
装置原料	2,941,200	2,874,373	+66,827
合計	7,366,029	7,474,885	-108,856
石油製品生産量			
ガソリン	764,191	771,686	-7,495
ナフサ	269,199	375,951	-106,752
ジェット燃料油	175,622	106,821	+68,801
灯油	224,510	286,876	-62,366
軽油	748,662	653,678	+94,984
LSA重油(S分0.1%以下)	94,250	93,926	+324
HSA重油(S分0.1%超)	104,434	104,030	+404
A重油計	198,684	197,956	+728
LSC重油(S分0.5%以下)	126,700	119,522	+7,178
HSC重油(S分0.5%超)	169,718	161,701	+8,017
C重油計	296,418	281,223	+15,195
合計	2,677,286	2,674,191	+3,095
石油製品輸入量			
ガソリン	n. a.	n. a.	-
ナフサ	n. a.	n. a.	-
ジェット燃料油	n. a.	n. a.	-
灯油	n. a.	n. a.	-
軽油	n. a.	n. a.	-
LSA重油(S分0.1%以下)	n. a.	n. a.	-
HSA重油(S分0.1%超)	n. a.	n. a.	-
A重油計	n. a.	n. a.	-
LSC重油(S分0.5%以下)	20,269	0	+20,269
HSC重油(S分0.5%超)	40,241	0	+40,241
C重油計	60,510	0	+60,510
合計	n. a.	n. a.	-
石油製品輸出量			
ガソリン	17,231	68,615	-51,384
ナフサ	0	5,040	-5,040
ジェット燃料油	120,407	77,160	+43,247
灯油	0	32,543	-32,543
軽油	92,094	53,167	+38,927
LSA重油(S分0.1%以下)	1,444	473	+971
HSA重油(S分0.1%超)	12,841	30,310	-17,469
A重油計	14,285	30,783	-16,498
LSC重油(S分0.5%以下)	77,007	37,820	+39,187
HSC重油(S分0.5%超)	46,152	39,465	+6,687
C重油計	123,159	77,285	+45,874
合計	367,176	344,593	+22,583
単位: k l			

「n. a.」は現時点でサンプル数が少ないため発表対象外

○石油製品の推定週間出荷量(内需) 全国

	2020/4/19~4/25		前週比		前年比(4/21~4/27)	
	出荷量(kl)	日量平均(kl)	%	kl	%	kl
ガソリン	540,216	77,174	-18.3	-121,256	-42.6	-400,990
ナフサ	-	-	-	-	-	-
ジェット	31,102	4,443	-68.4	-67,181	-73.4	-85,644
灯油	227,025	32,432	+23.6	+43,297	+28.1	+49,762
軽油	535,909	76,558	-10.0	-59,383	-22.9	-159,037
LSA 重油	69,978	9,997	-25.7	-24,213	-32.3	-33,360
HSA 重油	87,599	12,514	+8.4	+6,760	-29.8	-37,160
A 重油計	157,577	22,511	-10.0	-17,453	-30.9	-70,520
LSC 重油	40,299	5,757	-32.4	-19,296	+53.8	+14,098
HSC 重油	108,742	15,535	+13.9	+13,286	+5.0	+5,143
C 重油計	149,041	21,292	-3.9	-6,010	+14.8	+19,241
合計	1,640,870	234,410	-12.2	-227,986	-28.3	-647,188

石油連盟週報から推計 合計にナフサは含んでいない

当該週出荷＝前週末製品在庫＋当該週生産＋当該週輸入－当該週輸出－当該週末製品在庫

◎お知らせ
OPRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2月27日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>

○リム電力レポートの英語版発刊のお知らせ

リム情報開発は、2020年1月6日(月)にリム電力レポートの英語版を発刊しました。日本の電力市場は、20兆円の市場規模と世界でも有数の規模を誇る中、2016年4月の電力小売全面自由化以降、海外の事業者からも新規参入の動きが相次いでいます。特に海外の事業者による卸電力市場への注目度は高く、日本の卸電力市場の動向を理解する上で、電力レポートの英語版を希望する声はこれまでも多くありました。

このたび、こうした声に応えるべく、当社では英語版を発刊する運びとなりましたので、お知らせ致します。新たに発刊する英語版でも、日々の卸電力取引の動向を詳細に伝えとともに、火力発電の動向、スパーク/ダークスプレッド、多種多様なグラフなど、日本語版と同様の情報を掲載して参ります。詳細は電力チーム(03-3552-2411、info@rim-intelligence.co.jp)までお問い合わせください。

○『バイオマスレポート』発刊のお知らせ

リム情報開発は1月23日、発電用の木質ペレットやPKS(パームヤシ殻)の価格評価を始めました。この価格評価や市場動向などを網羅した週刊『バイオマスレポート』を発刊し、関係者の皆様に役立つ情報をお届けします。世界的に環境問題に対する意識が高まる中、木質バイオマスを燃料とした発電所の建設が国内でも相次いでいます。これに伴い、木質バイオマスの価格動向に対する関心がかつてないほど高まっています。『バイオマスレポート』は、国際市場の動向に留まらず、国内未利用木材の動向や各



種貿易統計、入札情報などを随時掲載していきます。

『バイオマスレポート』は毎週木曜日に発刊いたします。価格は毎月20,000円です。下記のリンクよりお申し込みください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/bio/>

◇弊社ウェブサイトURLは www.rim-intelligence.co.jp

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。

◇「トレーディングボード」で配信した情報は、価格評価の対象となります。本紙は「トレーディングボード」で配信する成約/ビッド/オファーの提示を受け付けております。

連絡先は国内石油製品チーム:03-3552-2411 メール:info@rim-intelligence.co.jp

ジャパン石油製品レポートのアセスメントメソドロジー

リンク先: <https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/assessment/JpnJapnProductsMethodology10022017.pdf>

◇ガソリン、灯油、軽油、A重油の名古屋着輸入試算値は関税・石油石炭税込み

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725 Shanghai--Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576 India--Tel: (91) 98795-50717

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をういて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail: info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局] Tel: (65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail: hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社] Tel: (86) 10-6498-0455, Fax: (86) 10-6428-1725

e-mail: guanhong@rimbj.com

[上海支社] Tel: (86)-21-5111-3575, e-mail: rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2020 RIM INTELLIGENCE CO.